

2022 札幌地区代表選考会（女子/男子）

チームミーティング資料 (審判長事前通知)

どうぎんカーリングスタジアム

2022年 11月5日～6日

11月12日～13日

大会審判長 伊藤 朋子

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

はじめに

本大会は、道央ブロック選手権（11月25日から27日 妹背牛町）に出場する男子6チーム、女子7チーム（南富良野辞退のため、1枠追加）を選出する大会です。（なお、地区予選免除のチームがありますのでこの大会により選出されるチーム数は男子4チーム、女子5チームである）本大会はJCA競技規則2020.11版を適用します。なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。また、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分実施した中での開催となります。選手各位においてもJCA通知、どうぎんカーリングスタジアム利用などのガイドラインを十分把握し、予防対策を行った上で大会に参加されますようお願いいたします。

今回は試合前のチームミーティングは実施しません。また、感染拡大防止の上から無観客試合とします。

1. 競技方式

競技方法は開催要項で示したとおりであるが、対戦リーグなど詳細は別途通知する。

(1) 女子

予選ブロック（F、G、H、Iの各4ブロック）と代表決定トーナメント戦とする。

- ① Fブロックは3チームとし、この上位2チームを代表決定とする。3位のチームは代表決定トーナメントに進出する。
- ② G,H及びIブロックは各3チームとし序列の上位5チームが代表決定トーナメントに進出し、Fブロックで3位となったチームを加えた6チームによるトーナメント戦により代表を決定する。

(2) 男子

予選ブロック（A～Eまでの5ブロック）と代表決定トーナメント戦とする。

- ① リーグ戦の上位であるA及びBブロックは各3チームとし、Aブロックの1位となったチームは代表決定とする。Aブロックの2位及び3位とBブロックの3チームは代表決定トーナメント戦①に進出する。
CからEのブロックはそれぞれ4チームの予選リーグとし、この3ブロックでの序列の上位3チームが代表決定トーナメント戦①に進出する。4位から6位までが代表決定トーナメント戦②に進出する。トーナメントは別紙のとおりである。

2. 試合の長さ

予選ブロック及び代表決定トーナメント戦1回戦（男子は2回戦まで）は6エンドとする。代表決定トーナメント戦（女子はS21～22, S31、男子はA31～A32, B41）は8エンドとする。

代表決定トーナメント試合において最終エンド同点の場合はサドンデスのエキストラを行い、勝敗を決定すること。

8エンドの試合ではハーフタイム（5分間）、チームタイムアウトを1回認める。（コーチの移動時間を含めて2分30秒）

3. 順位決定方法

予選ブロックの順位決定はポイントによる序列とする。女子Fブロック、男子Aブロック及びBブロックはブロック内での序列。女子のG～I、男子のC～Eブロックにあつては、予選3ブロック全体のポイントを序列とする。ポイントが同じの場合はLSDの短い順に順位（序列）を決定する。（女子は2試合：4投の合計、男子は3試合：6投の合計）
ポイントは勝ち3点、引き分け1点、負け0点とする。

4. ストーンの割り当て

予選の先練習（赤色のハンドル）、後練習（黄色のハンドル）はタイムスケジュールに示した★印が先練習である。★印が無い対戦はコイントスなどで決めること。

代表決定トーナメント戦は競技規則 C8-（g）による。

5. ラストストーンの扱い（1エンド目の後攻）

（1）試合前練習後に LSD を行い、LSD の短いチームが1 エンド目の先攻後攻を選択する。どちらのチームもハウスに入らなかった場合はコイントス、あるいは入ったが同距離の場合は、個々の数値を比較し最も短い数値のあるチームが選択し、全く同数の場合はコイントスをして決定する。

（2）ラストストーンドロ（LSD）【競技規則 C8（b）（c）（d）】

① 試合前練習後、ストーンを2投それぞれ異なるプレイヤーが時計回りと反時計回りの回転で投球する。

② 各プレイヤーは最低投球回数を満たさなければならない。

（男女とも予選リーグの最低投球数は1投である。時計回り・反時計回り何れか1投）

③ 最低投球回数の要件を満たさない違反があった場合、相当するLSDは185.4cmと記録する。

6. 試合前練習

試合の開始前に、各チームにはゲームストーンのみを使った2分間の練習が許可される。練習に関する指示は審判長が行なう。

最初の練習は試合開始15分前から赤色のストーンのチームが行い、終わり次第黄色のストーンのチームの練習が開始される。

それぞれのチームは練習終了後に直ちに LSD を行う。LSDは審判の指示により1分以内で行う。

残りの時間はアイス準備のために使われる。

7. プレーエリアに入る際のユニフォーム・靴

JCA 競技者ユニフォーム規定に合致した統一されたユニフォームの着用を原則としますが、ユニフォームの着用が困難な場合は、カーリングにふさわしい服装での競技を認めます。

※道央ブロック選手権以上の上位大会においては、規定に則したユニフォームの着用が求められることとなりますのでご留意下さい。

シーズンは適切な服装とは認められないことに注意いただきたい。

選手・コーチ・チーム関係者がプレーエリアで履く靴はきれいであればならない。そうでない場合、プレーエリアに入ることは許可されない。

8. 試合スケジュール

記載されている試合に関する時間は試合開始時間である。

9. 計時

予選ブロック及び代表決定トーナメント戦1回戦は90分のランニングタイム制。終了10分前にコールを行うのでそれ以降は新しいエンドには入れません。代表決定トーナメント戦（女子はS21～S22及びS31、男子はA31～A32及びB41）の試合は8エンドであり、シンキングタイム制（シンキングタイム30分）。計時審判は事務局で割り当てたので確認のうえ当たって下さい。タイムの修正は審判の指示の下に行ってください。なお、タイマーに関することは<http://curltime.com>を検索、競技規則C6を確認して臨むこと。なお、エキストラエンドの持ちタイムは3分45秒である。

予選リーグ及び代表決定トーナメント戦の1回戦はランニングタイム制で行うが、対戦相手に時間の余裕を与えることも必要であり、スムーズな試合進行に努めて下さい。

10. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけません。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行なう。

- (1) アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は計時を止め確認を行なう
- (2) 審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」ものだったかどうかを決定する。
- (3) もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スイープの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する。
- (4) ダメージがなければ何も行なわない。ダメージがあれば修復する。

11. ラインナップカード

オリジナルラインナップカードはそのチームの最初の試合前練習の開始15分前までに審判長又は事務局に提出して下さい。

オリジナルラインナップカードに記載された投球順やポジションに変更がある場合は、試合前練習の開始15分前までに変更用ラインナップカードを大会本部に提出すること。

プレー中の選手交代は、審判へ申告してください。コーチ又は選手は試合終了後変更のラインナップカードを提出してください。

12. 計測【競技規則R11(d)】

全ての計測は審判が行なう。 エンドの終了時に計測の要求があった場合は、選手は関係しない全てのストーンを取り除き、ホッグラインかハックの後ろまで離れて審判のために場所を空けなければならない。各チーム誰か1人は計測に立ち会っても良いが、計測に影響を及ぼさず、計測を妨げない位置にいななければならない。審判は計測後ストーンを動かさずに、一番近いストーンを指示する。いずれかのチームは、再計測の要求をする権利を有する。

13. 選手の位置【競技規則 R4】

投球動作中は、投球していない側のチームの選手はサイドライン沿いのコーテジーライン間の位置で静止していなければならない。ただし、次の投球を行なう選手は、投球する側のハックの後ろのシートの端の位置に静止していても良い。

投球していない側のチームのスキップまたはバイススキップは、プレー側のバックラインより後ろの位置に静止していても良いが、投球している側のチームのスキップまたはバイススキップの立ち位置を妨害しないこと

14. ホッグライン

本大会はホッグラインセンサーを使用しません。

15. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレーヤーは速やかにボードに掲示してください。試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをしなければならないが、その際にその試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがないか確認してサインすること。

16. 不当な行為

出場する選手及びコーチは他のカーラーの見本となるべきである。

勝敗やショットの成否によって感情が表に出ること自体は、至極自然な事ではあるが、「氷をブラシでたたく」などの行為は、決して認められるものではありません。

そういった行為の制限について、本通知事項を1回目の注意とします。

試合中に同様の行為があった場合は、即座に審判員が直接注意を行います。

不当な行為・不快もしくは攻撃的な言動・用具の悪用や選手、コーチや大会関係者への意図的な攻撃は禁止される。違反行為に対しては、退場処分が科せられる事がある。

17. 喫煙

競技施設内は禁煙である。

18. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

19. 整理整頓

競技領域は常に整理整頓しておき、ごみは全て持ち帰ることを原則とする。

20. 報道

カーリングを行なうには報道機関の支援が必要である。したがって、全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められるが、何か問題がある場合は、審判長や副審判長に伝えること。

21. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなします。

22. 用具

チームが使用できるブラシヘッドは <http://www.worldcurling.org/brushes> からダウンロードできる “WCF Current Approved Product Codes” に記載されたものだけである。

- (1) 各選手は試合開始時に、使用する承認済みスウィーピング用具を指定し、試合中はその選手のみがその用具をスウィーピングに使用できる。違反した場合ストーンはプレーから取り除かれる 【競技規則 C3 (e)】。
- (2) 選手は、審判長が特別に許可した場合を除き試合中にブラシヘッドを換えることができない。許可なく取り換えた場合、チームは不戦敗となる 【競技規則 C3(f)】。
- (3) 交替選手が試合に入る場合、入れ替わるプレーヤーが使っていたブラシヘッドを使用しなければならない。新たな用具が使われた場合、チームは不戦敗となる 【競技規則 C3 (g)】

23. 基準に則っていない用具を使用した場合の罰則【競技規則 C3(i)】

JCAによって規定された競技用具の基準に則っていない用具を使用した場合の罰則は以下の通り。

- (1) 大会中最初の違反をしたチーム - 対象となる選手は大会失格処分となりチームは
当該試合を不戦敗とする。
- (2) 大会中二回目の違反をしたチーム - チームは大会失格処分となり選手全員が今後
12ヶ月間にわたりJCAの大会への出場が認められない。

24. COVID-19（感染症対策）

新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に減少しておりますが、収束した分けではありません。むしろ第6波への懸念が拭えないと言われております。

(1) 本大会は COVID-19 拡大防止の上から無観客試合とします。なお、チーム関係者については控えコーナーが密とならないように、観客席などで静かに観覧すること。

- (2) 選手並びにコーチ等は事前に配布されている健康チェック表及び行動記録表を必

ず提出して下さい。提出されない場合や虚偽の記入をされた場合には、大会に参加させない措置を取ることもあります。

- (3) 大会開催日の10日前の時点もしくはそれ以降に陽性と判断されている場合や入館前の検温で37.5°C以上となった場合は、入館を禁止します。
- (4) 競技中におけるマスク（サージカルマスク、不織布マスク）の着用は選手の判断によりますが自チーム及び対戦チームと協議し対応願います。但し、着用する場合にあっても呼吸を整えることは重要ですので他の選手が居ないことを確認しながらマスクを外して呼吸を整えることも必要です。また、競技中を除き、館内では必ずマスク等を着用して下さい。
- (5) 使用したストーンの消毒並びに勝利チームはシートの清掃をお願いします。

25. その他

- (1) JCA 競技規則と審判長通知事項の解釈に違いがある時は JCA 競技規則を優先します。
- (2) 審判長通知事項および競技規則に記載されていない事柄が発生した場合は、その都度審判長が対応します。
- (3) プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間です。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更となる場合もありますのでご了承願います。
- (4) 試合が続行されている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合がありますのでご了承願います。
- (5) 審判員は配置しますが必要最低限の人数となっていますので、計測以外はカーリングの基本であるセルフジャッジで試合を行ってください。
- (6) 試合中に競技規則を確認する必要がある場合は審判に確認して下さい。シンキングタイム制の試合の場合はタイマーを止めますので腕で×の字を作り審判、計時審判にアピールして下さい。
- (7) 各チームは LSD の記録について協力願います。
- (8) **規則 R1.シート幅の規定は競技場のサイドバンパー幅とする。**
- (9) 本大会はコロナ感染拡大防止の上から最小人数による開催を目指しており、コーチ及びチーム関係者は各1名とする。なお、資格基準については、「JCA主催選手権大会におけるチームコーチの資格基準」を遵守する。
- (10) 本大会では「ノーテックルール」を適用する。(日本カーリング協会 協議委員会・審判部 2022年10月5日通知文)
なお、JCAのHPを参照し確認し臨むこと。「2022-2023シーズンの試行ルールの適用について」
- (11) 健康チェック・行動記録については受付で提出願います。なお、2週とも出場するチームは週ごとに提出が必要です。
- (12) 試合が終了したチームは出来るだけ早期に退館すること。館内が出来ただけ密とにならないように試合前の入館は1時間前程度として下さい。